

別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和7年度第1回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和7年4月24日(木) 午前11時00分～午前11時18分
開催方法	オンライン(Zoom)
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 青山 裕之 委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美 委員 忰田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	渡辺課長 石嶋主幹 北田副主幹 藤田主事
議 題	(1) 令和7年度外部評価の概要について (2) 評価対象施策の選定について
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 【資料1】 戸田市外部評価実施手引き(令和7年度版) 【資料2】 令和7年度評価対象施策の候補一覧 【参考資料1】 戸田市外部評価委員会委員名簿 【参考資料2】 戸田市外部評価委員会条例及び実施要領

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>1 開 会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>委員の皆様には昨年度の外部評価において、行政評価の客観性・透明性の向上、市政運営の改善に貢献していただいたことに感謝申し上げます。</p> <p>市が実施した施策の結果や評価制度に関して、今年度も忌憚のない御意見を賜りたい。</p>
事務局	<p>3 議 事</p> <p>(1) 令和7年度外部評価の概要について</p> <p>【資料1】戸田市外部評価実施手引き（令和7年度版）に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>評価の妥当性に関する4段階評価（A～D）を行う意義を確認したい。外部評価委員会では個別具体的な内容を審議することが多いので、施策単位で4段階評価（A～D）を行う必要性はないと感じる。</p>
事務局	<p>個別的な取組に関する御意見に加えて、施策単位での評価もいただくことが外部評価の目的であるため、4段階評価（A～D）は継続してほしい。</p>
委員	<p>判断する目安があった方が望ましく、4段階という区分も適切である。</p>
委員	<p>基準があった方が判断しやすく、分かりやすさという点においても4段階評価は必要である。</p>
委員長	<p>評価とは、なんらかの基準に従って価値判断を下すことであり、戸田市の外部評価は評価基準が明確に設定されており、分かりやすい。</p>
委員長	<p>その他に意見や質問等はあるか。</p>

委員一同	なし
事務局	<p>(2) 評価対象施策の選定について</p> <p>【資料2】令和7年度評価対象施策の候補一覧に基づき、説明を行った。</p> <p>令和7年度については、外部評価委員会の選定施策を3施策、市長選定の施策を3施策としたく、外部評価委員会の評価対象施策は、施策8「地域医療体制の強化」、施策20「安全な道路環境の整備・推進」、施策28「環境衛生の充実」とし、市長選定の評価対象施策は、12「国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の円滑な運営」、施策17「防犯体制の強化」、施策23「上下水道事業の効率的な運営・施設の充実」に決定してよいか。</p>
委員一同	異議なし
委員長	事務局提案のとおり、今年度の外部評価対象施策を決定する。 その他に意見や質問等はあるか。
委員	なし
事務局	<p>4 連絡事項</p> <p>令和6年度行政評価報告書及び外部評価報告書を市ホームページに公開した。</p> <p>第2回外部評価委員会は、6月27日（金）の午前9時から開催する。</p> <p>5 閉会</p>

別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和7年度第2回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和7年6月27日(金) 午前9時00分 ~ 午前11時06分
開催場所	戸田市役所本庁舎501会議室
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 青山 裕之 委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美 委員 忰田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	渡邊部長 山下次長 渡辺課長 石嶋主幹 北田副主幹 藤田主任
議 題	(1) 令和7年度評価対象施策の概要について (2) 今後の事務スケジュールについて
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	・ 次第 ・ 【資料1】 戸田市外部評価実施手引き (令和7年度版) ・ 【資料2】 当日のヒアリング実施スケジュール ・ 【参考資料1】 ロジック・モデルシート (6施策分) ・ 【参考資料2】 施策評価シート・事務事業評価シート (6施策分) ・ 【参考資料3】 令和7年度外部評価ヒアリング事前質問用紙

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) 令和7年度評価対象施策の概要について</p> <p>本日はタイムスケジュールが厳しくなっており、議題(1)に係る委員からの質問は、各施策に係る事実関係を確認する質問に留めていただき、事業の妥当性など、施策評価の内容に係る質問については、7月31日及び8月1日に行われるヒアリングの際に行っていただきたい。</p> <p>また、この場ですぐに回答できない質問については、ヒアリング前の書面での回答か、ヒアリング当日に説明を行う取扱いにさせていただく。円滑な進行のため、委員各位の協力をお願いしたい。</p>
事務局	<p>&lt;施策8「地域医療体制の強化」&gt;</p> <p>参考資料1・2に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>これまでの取組結果から現状を把握し、目標達成のために不足していることを課題として捉え、今後講じる施策を検討することが大切である。施策評価シートやロジック・モデルシートではそれらが把握しづらい。</p>
委員長	<p>そのような観点で、事前質問もしくはヒアリング当日に担当部局に確認を行うのが望ましい。</p>
事務局	<p>ヒアリング当日、現状の課題認識や今後注力していこうと考えている事務事業を担当部局から説明する。なお、ロジック・モデルシートに関しては、施策の全体像をわかりやすく見える化することを主な目的として作成している。</p>
委員	<p>ヒアリング時、第5次総合振興計画の冊子を手元に準備しておいてほしい。</p>

事務局	承知した。
委員	圏域内での医療機関数や、各医療機関におけるベッド数等は、国や県が決定している場合があると思う。枠が決められている場合は必然的にできることが制限されるため、その中での議論になる面も否定できない。したがって、そのような実態があるか教えてほしい。
事務局	事前質問として、担当部局に共有させていただく。
委員	「医療センター窓口・受付・カルテ事業」の事務事業評価シートの「3. 目標達成状況」において、成果指標として「医療・受付職員の態度や言葉遣いが良かったと思った割合」が設定されている。回答数等、アンケートの詳細が知りたい。
事務局	事前質問として、担当部局に共有させていただく。
事務局	<p>&lt;施策12「国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の円滑な運営」&gt;  参考資料1・2に基づき、説明を行った。</p>
委員	令和8年4月から始まる「子ども・子育て支援金制度」の関係で、支援納付金対象費用分が医療保険料に上乗せされる形で徴収されることが決定している。施策の目的に、“円滑な運営”という表現が含まれており、ロジック・モデルシートにおいても保険料の上昇抑制が記されているので、今後の方向性についても議論の俎上に挙げてよいのか。
委員長	施策評価シートにおいて、今後の方向性として、人や予算といった資源の見通しが言及されており、外部評価の視点の1つになっている。本施策は他の施策に比べて市の裁量が狭く、過去の取り組みを評価することのみで評価・ヒアリングを行うのは難しいと感じている。
事務局	いただいた意見を担当部局に共有し、ヒアリングにおいてどのように議論を進めるか検討したい。

委員	<p>施策の目的の中に「社会保険等に参加していない市民」という表現があるが、具体的にどのような状況にある人か教えてほしい。</p>
事務局	<p>自営業者やフリーターなど、会社の社会保険に参加できない人を指している。現在の日本の医療保険制度は、すべての国民が何らかの公的医療保険に加入し、お互いの医療費を支え合う国民皆保険制度が取られている。</p>
委員	<p>一般会計からの繰り入れは、市民税が投入されているということである。市としてどのような対策を考え、どのような施策を講じるのか、ヒアリング当日にお聞きしたい。</p>
事務局	<p>事前質問として、担当部局に共有させていただく。</p>
事務局	<p>&lt;施策17「防犯体制の強化」&gt; 参考資料1・2に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>数年前に戸田市内の小学校において教員切りつけ事件があったが、そのような象徴的な事件が起こると、市民の体感不安に大きな影響があると思う。施策指標として設定している「防犯体制が充実していると感じている割合」に関しても、戸田の街中のという意味合いではなく、学校も含んで解釈及び回答する市民もいると思う。</p>
事務局	<p>事務局としても同様の見解である。教員切りつけ事件とこの施策の関連は、担当部局に確認させていただく。</p>
委員	<p>「防犯体制が充実していると感じている割合」を指標としているが、安全を感じている人が3割程度では、危険なまちという印象で捉えられてしまう。「防犯体制が充実していると感じている割合」よりも「危険を感じた人の割合」の方が適切な指標ではないか。</p>
事務局	<p>戸田市第5次総合振興計画の後期計画策定中のため、指標の設定方法も含</p>

	<p>めて検討したい。危険を感じた人の割合等のデータの有無については、担当部局に確認し、ヒアリング当日に報告する。</p>
委員長	<p>充実していると感じている市民の割合は、他の施策でも同様に満足度として調査しているという認識でよいか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>防犯体制を高める施策の中で、「防犯体制が充実していると感じている割合」が27%というのは、防犯体制が弱いことを表す極めて危険な数値ではないのか。</p>
事務局	<p>この指標は、市民意識調査において、「防犯体制の強化」について“満足、まあ満足、どちらともいえない、やや不満、不満”の5択で尋ねており、“満足”及び“まあ満足”と回答した人の割合の合計値としている。第5次戸田市総合振興計画前期計画中は、当初値である27.1%から改善傾向にある。</p> <p>なお、令和5年度戸田市市民意識調査における本設問の結果内訳は、満足が4.3%、まあ満足が27.4%、どちらともいえないが53.4%、やや不満が5.8%、不満が1.9%、無回答が6.0%である。他の設問においても、大体5割前後の人が“どちらでもない”を選択する傾向がみられるため、その結果をどのように切り取って指標とするか、引き続き検討したい。</p>
委員	<p>どちらでもない人を増やすのか、それ以上の人を増やすのか、対象を明確にして対策をとることが、施策の推進のために必要なことである。</p>
事務局	<p>御意見として担当部局に共有させていただく。</p>
委員	<p>地域安全ステーションの人員体制及び活動状況を確認したい。</p>
事務局	<p>事前質問として、担当部局に共有させていただく。</p>

事務局	<p>&lt;施策20「安全な道路環境の整備・推進」&gt; 参考資料1・2に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>「周りの道路の安全性がよいと感じている市民の割合」を指標としているが、目標値が18%では、担当部局として取り組みを行う際の動機づけになりえないのではないかと。そもそも、特段施策を講じなくても、18%程度にはなるのではないかと。</p>
事務局	<p>市民意識調査において、「周りの道路の安全性」について、“非常に良い、やや良い、どちらともいえない、やや悪い、非常に悪い、わからない”の6択で尋ねており、“非常に良い”及び“やや良い”と回答した人の割合の合計値としている。第5次戸田市総合振興計画前期計画中は、当初値である16.2%から改善傾向にあり、必要な施策を講じた結果、この数値が改善したと捉えられる。</p> <p>なお、令和5年度戸田市市民意識調査における本設問の結果内訳は、満足が3.7%、まあ満足が17.3%、どちらともいえないが45.4%、やや悪いが22.8%、非常に悪いが5.7%、わからないが2.3%、無回答が2.7%である。他の設問においても、大体5割前後の人が“どちらでもない”を選択する傾向がみられるため、その結果をどのように切り取って指標とするか、引き続き検討したい。</p>
委員長	<p>目標水準の設定に関して、挑戦的な数値を掲げて、モチベーションを上げること方法の1つである。</p>
事務局	<p>今後の総合振興計画策定時の参考としたい。</p>
委員	<p>外部評価委員会での施策指標に対する意見は、後期基本計画の際に反映されるものなのか？</p>
事務局	<p>頂いた御意見を参考にさせていただき、施策の最終目標につながる適切な指標を検討していく。</p>

委員	ロジック・モデルシートを作成している理由の1つは、外部に対して施策の概要をわかりやすく伝えることであると認識している。市としてしっかりと点検・維持管理をしていることがわかるような施策指標にすることも検討していただきたい。
事務局	<p>各施策に事務事業が紐づいており、基本的には各事務事業の中で具体的な指標を掲げている。例えば、道路損傷に関して、施策目標としては事故発生件数を設定しているが、「道路補修事業」という事務事業において、道路損傷箇所補修率を成果指標として設定している。つまり、このような個々の取り組み及び数値の積み重ねの結果が、施策としての指標となっていることから、多少抽象的になりやすい側面がある。</p> <p>指標については、後期基本計画策定の中で検討していく。</p>
委員長	現状のロジック・モデルシートでは、事務事業レベルでのアウトカム指標は示されていない。施策指標の他に、直接成果や中間成果の部分にアウトカム指標を載せることも検討していただきたい。
事務局	承知した。
委員	市民意識調査の概要を教えてほしい。
事務局	2年に一度、無作為抽出にて調査対象者3,000人を選定し、調査票を郵送し、郵送もしくはWebにて回答を受け付けている。
委員	最終成果として「市民の交通意識が醸成され、交通事故が発生しにくい状態」が掲げられているが、市内在学・在勤者は本施策のターゲットとしているか。施策として注力している部分を確認したい。
事務局	事前質問として、担当部局に共有させていただく。
委員	施策評価指標「交通事故発生件数」については、市道・県道・国道を含めた市内全域における交通事故発生件数という認識でよいか。

事務局	<p>そのとおりである。一方、施策評価指標「道路損傷による事故発生件数」は、市道における道路損傷による事故発生件数である。</p>
委員	<p>国道や県道で発生した事故については、戸田市として対応できないので、指標に含めるべきではないと考える。戸田市として対応できる部分のみを指標に設定すべきではないか。</p>
委員	<p>市内における道路使用者の意識に関することなので、事故が発生した場所が市道か否かは問わない指標になっていると認識している。実際に担当部局において、事故の分析ができていれば問題はないので、ヒアリング時に確認したい。</p>
事務局	<p>指摘があった事項を担当部局に共有し、ヒアリング時に担当部局から説明する。</p>
	<p>&lt;施策23「上下水道事業の効率的な運営・施設の充実」&gt;</p>
事務局	<p>参考資料1・2に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>下水道事業の経費回収率は100%となっているが、計算式を知りたい。上水道事業に比べて、回収のハードルが低いものなのだと感じた。</p>
事務局	<p>経費回収率は、下水道の使用に掛かる料金を汚水処理に掛かる費用で割った数値である。</p>
委員	<p>水道料金の減免対象者数の過去の推移・今後の見込みを教えてください。</p>
事務局	<p>事前質問として、担当部局に共有させていただく。</p>
委員	<p>評価指標の「水道料金回収率」について、令和4年度が81.4%と他年度に比較して低くなっている。高齢化が進むと減免世帯が増える傾向があるという認識ではいるが、この突発的な数値はどのような事情があったのか知</p>

	りたい。
事務局	新型コロナウイルスの感染拡大に関連して上下水道料金の基本料金を免除した期間があり、そのことが影響している可能性が考えられる。詳細についてはヒアリング当日もしくは事前質問への回答にて説明する。
委員	評価指標の「基幹管路の耐震化率」について、基本的には計画及び予算に基づいて耐震化を進めていると思われるが、目標値を下回って推移している理由を教えてほしい。
事務局	事前質問として、担当部局に共有させていただく。
委員	「荒川左岸南部流域下水道費」の事務事業評価シートの事業内容として、関係5市において維持管理費を負担すると書いてあるが、負担割合やその根拠を教えてほしい。
事務局	事前質問として、担当部局に共有させていただく。
	<b>&lt;施策28「環境衛生の充実」&gt;</b>
事務局	参考資料1・2に基づき、説明を行った。
委員	「清掃総務事務費」と「廃棄物収集処理事業」が、令和8年度から統合する予定と記載されているが、統合の理由や背景を教えてほしい。
事務局	両事務事業評価シートの「6. 令和8年度の方針・取組方針」に示されているとおり、事業内容及び性質が同様であることが理由である。
委員長	事務事業の統合は担当課の裁量で行うことができるものなのか。
事務局	基本的にはそのとおりである。
委員	施策評価シートの「5. 事務事業の検討」にある施策内優先度の略称を説

	明してほしい。
事務局	法は法定受託事務、義は自治事務のうち義務的なもの、予は予算管理シート、終は令和6年度から令和8年度までのいずれかの年度で終了予定のものを指している。また、AからCは自治事務のうち任意のもので、担当部署において優先度（Aが高い、Cが低い）を判断した結果が示されている。
委員	施策評価シートの今後の方向性（人員）として、効果的な周知と業務委託を効率的に実施し、現状の人員ニーズを維持しつつきめ細かなニーズにも対応していくと記載されている。ごみの収集事業やごみ蕨戸田衛生センターのオペレーション等、どの範囲まで委託しているのか確認したい。
事務局	蕨戸田衛生センター組合がごみ処理等の事務を担っているが、具体的な委託範囲については、ヒアリング当日に担当部局から説明する。
事務局	<p>(2) 今後の事務スケジュールについて</p> <p>資料1・2に基づき、説明を行った。</p>
委員	意見や質問等はあるか。
委員一同	なし
	3 閉 会

## 別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和7年度第5回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和7年9月16日(火) 午前11時00分 ~ 午前11時44分
開催方法	Web会議
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹                      副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 青山 裕之                      委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美                      委員 忰田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	渡辺課長 北田副主幹 藤田主任
議 題	(1) 答申書(案)について (2) 今後のスケジュールについて
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 【資料1】 答申書(案) 【資料2】 別紙令和7年度戸田市外部評価委員会の評価結果 【資料3】 今後のスケジュールについて 【参考資料】 各施策の外部評価結果一覧

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>1 開 会</p> <p>○委員長挨拶</p> <p>本日の目的は、本委員会としての答申をまとめていくことである。6施策あり、各施策の評価結果について、6分から7分程度で決定していくことから、非常にタイトになるため、円滑な進行に協力いただきたい。</p>
事務局	<p>2 議 事</p> <p>(1) 答申書(案)について</p> <p>資料1及び資料2に基づき、説明を行った。</p>
委員長	<p>意見や質問等はあるか。</p>
委員一同	<p>なし</p>
委員長	<p>続いて、資料2の各施策の委員会の評価欄について審議の上、評価結果を決定していく。</p>
委員長	<p>&lt;施策8&gt;</p> <p>① 事務事業の妥当性</p> <p>評価結果は、A：6件、B：1件、C：0件、D：0件である。</p> <p>加重平均：3.86であることから、委員会の評価を「A妥当である」として良いか。</p>
委員一同	<p>承認</p>
委員長	<p>② 施策指標の妥当性</p> <p>評価結果は、A：1件、B：5件、C：1件である。</p> <p>加重平均：2.00であることから、委員会の評価を「B改善(小)」として良いか。</p>

委員一同	承認
委員長	<p>③ 資源の方向性（予算）</p> <p>評価結果は、増加：1件、維持：5件、縮小：1件である。 加重平均：2.00であることから、委員会の評価を「→維持」として良 いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>④ 資源の方向性（人員）</p> <p>評価結果は、増加：3件、維持：4件、縮小：0件である。 加重平均：2.43であることから、委員会の評価を「→維持」として良 いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>以上で、施策8を終了する。</p> <p><b>&lt;施策12&gt;</b></p> <p>① 事務事業の妥当性</p> <p>評価結果は、A：6件、B：1件、C：0件、D：0件である。 加重平均：3.86であることから、委員会の評価を「A妥当である」と して良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>② 施策指標の妥当性</p> <p>評価結果は、A：1件、B：4件、C：1件、1名は評価なしである。 加重平均：2.00であることから、委員会の評価を「B改善（小）」と して良いか。</p>
委員一同	承認

<p>委員長</p>	<p>③ 資源の方向性（予算） 評価結果は、増加：1件、維持：6件、縮小：0件で、加重平均：2.14であることから、委員会の評価を「→維持」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>④ 資源の方向性（人員） 評価結果は、増加：1件、維持：6件、縮小：0件で、加重平均：2.14であることから、委員会の評価を「→維持」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>以上で、施策12を終了する。</p>
<p>委員長</p>	<p>&lt;施策17&gt; ① 事務事業の妥当性 評価結果は、A：5件、B：1件、C：0件、D：1件である。 加重平均：3.43であることから、委員会の評価を「B改善（小）」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>② 施策指標の妥当性 評価結果は、A：1件、B：5件、C：1件である。 加重平均：2.00であることから、委員会の評価を「B改善（小）」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>③ 資源の方向性（予算） 評価結果は、増加：3件、維持：3件、縮小：1件である。</p>

	<p>加重平均：2.29であることから、委員会の評価を「→維持」として良 いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>④ 資源の方向性（人員） 評価結果は、増加：2件、維持：4件、縮小：1件である。 加重平均：2.14であることから、委員会の評価を「→維持」として良 いか。</p>
委員一同	承認
委員長	以上で、施策17を終了する。
委員長	<p><b>&lt;施策20&gt;</b> ① 事務事業の妥当性 評価結果は、A：5件、B：1件、C：1件、D：0件である。 加重平均：3.57であることから、委員会の評価を「A妥当である」と して良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>② 施策指標の妥当性 評価結果は、A：1件、B：5件、C：1件である。 加重平均：2.00であることから、委員会の評価を「B改善（小）」と して良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>③ 資源の方向性（予算） 評価結果は、増加：4件、維持：3件、縮小：0件である。 加重平均：2.57であることから、委員会の評価を「↑増加」として良</p>

委員一同	いか。
委員一同	承認
委員長	<p>④ 資源の方向性（人員）</p> <p>評価結果は、増加：2件、維持：5件、縮小：0件である。</p> <p>加重平均：2.29であることから、委員会の評価を「→維持」として良 いか。</p>
委員一同	承認
委員長	以上で、施策20を終了する。
委員長	<p><b>&lt;施策23&gt;</b></p> <p>① 事務事業の妥当性</p> <p>評価結果は、A：6件、B：1件、C：0件、D：0件である。</p> <p>加重平均：3.86であることから、委員会の評価を「A妥当である」と して良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>② 施策指標の妥当性</p> <p>評価結果は、A：3件、B：4件、C：0件である。</p> <p>加重平均：2.43であることから、委員会の評価を「B改善（小）」と して良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>③ 資源の方向性（予算）</p> <p>評価結果は、増加：4.5件、維持：2.5件、縮小：0件である。</p> <p>加重平均：2.64であることから、委員会の評価を「↑増加」として良 いか。</p>

委員一同	承認
委員長	<p>③資源の方向性（人員）</p> <p>評価結果は、増加：4.5件、維持：2.5件、縮小：0件である。 加重平均：2.64であることから、委員会の評価を「↑増加」として良 いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>以上で、施策23を終了する。</p> <p>&lt;施策28&gt;</p> <p>① 事務事業の妥当性</p> <p>評価結果は、A：4件、B：2件、C：1件、D：0件である。 加重平均：3.43であることから、委員会の評価を「B改善（小）」と して良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>② 施策指標の妥当性</p> <p>評価結果は、A：1件、B：5件、C：1件である。 加重平均：2.00あることから、委員会の評価を「B改善（小）」とし て良いか。</p>
委員	承認
委員	<p>③ 資源の方向性（予算）</p> <p>評価結果は、増加：2件、維持：4件、縮小：1件である。 加重平均：2.14であることから、委員会の評価を「→維持」として良 いか。</p>
委員一同	承認

委員長	<p>④ 資源の方向性（人員）</p> <p>評価結果は、維持：7件である。</p> <p>加重平均：2.00であることから、委員会の評価を「→維持」として良 いか。</p>
委員一同	承認
委員長	以上、「議題（1）答申書（案）について」を終了とする。
事務局	<p>（2）今後のスケジュールについて</p> <p>資料3に基づき、説明を行った。</p> <p>次回の第6回外部評価委員会まで日数が限られていることから、最終的な 確認については、委員長に一任いたしたいと考えている。</p>
委員長	最終的な確認について、委員長一任という提案がなされたが意見や質問等 はないか。
委員一同	なし
委員長	他に意見や質問等はあるか。
委員一同	なし
	3 閉 会

別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和7年度第6回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和7年10月14日(火) 午前10時30分～午前11時40分
開催方法	公室
出席者氏名	市長 菅原文仁 副市長 豊島浩明 委員長 佐藤徹 副委員長 長野基 委員 青山裕之 委員 溝上西二 委員 宮崎仁美 委員 悴田康二 委員 古賀麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	企画財政部 渡邊部長 山下次長 共創企画課 渡辺課長 北田副主幹 藤田主任
議 題	答申及び意見交換
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	・次第 ・答申書及び別紙

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
市長	<p>1 開 会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>日頃から委員の皆様には本市の市政運営、そして今回の評価において様々な御協力をいただき感謝申し上げます。</p> <p>4月から短い期間で5回の委員会を行い、熱心な審議がなされ、忌憚のない御意見を頂戴したと聞いている。6施策でいただく御意見・御指摘を改善策につなげることは我々の責任と考えている。</p> <p>現在、第5次総合振興計画の後期基本計画の策定作業を行っており、皆様からいただいた貴重な御意見はしっかりと受け止めて、可能な限り市政に活かしてまいりたい。</p> <p>本日の皆様の感想なども伺いながら、しっかり受けとめていきたい。何卒よろしくお願い申し上げます。</p>
委員長	<p>3 答 申</p> <p>4 意見交換</p> <p>私が外部評価委員に任命されたのが2011年度で、今年が15年目である。2021年に現行の総合振興計画がフルモデルチェンジでスタートし、菅原市長から新たな行政評価制度について諮問をいただき、そこで外部評価ヒアリングにロジック・モデル導入の答申をした。翌年から外部評価委員会ではロジック・モデルが導入され、2期4年実際に運用した。</p> <p>ロジック・モデルは、一定の有効性があることが実証されたと思っている。コロナ禍以降、ロジック・モデルは国の政策評価だけでなく、県や市町村でも導入され、民間企業や大学にも普及している。ロジック・モデルが将来のビジョンを実現するための過程を可視化させ、そのプロセスに様々な関係者が参加することで、コミュニケーションツールとして、さらにその後のマネジメントツールとして活用され始めている。</p> <p>行政評価やEBPMの分野において、戸田市はトップランナーの一角を占めていると考えており、私が様々なところで講演する際、必ず戸田市の取組</p>

	<p>を紹介している。</p> <p>ロジック・モデルが内部でどの程度活用されているかは分からないが、コミュニケーションツールや業務の引継ぎ等、多面的に使えると思っている。</p> <p>様々な自治体でロジック・モデルを活用した取組が実施されているので、参考にしながら次のステージに進んでいただきたい。</p>
市長	<p>ロジック・モデルの活用は非常に重要であると改めて感じた。会議等で活用されたり、職場のコミュニケーションツールになったりしていないのが実情である。個人的には、予算審議においてロジック・モデルを活用すると良いと考えている。</p> <p>ロジック・モデルにおいて、同じ言葉でも意図しているものは何なのか、共通認識できることが大事である。まだ職員にそこまで落とし込めておらず、課題であると感じている。</p>
委員	<p>外部評価の中に、資源の方向性の議論がある。現代社会において、様々な部分で技術革新によりAIやロボティクスの利用が進んでいる。例えば、市全体としてあるシステムを導入することでコストが下がる一方で、インフレの進行に伴い全体としてはコストが上がってしまう場合がある。総合振興計画には行政改革についても記されているが、市全体のシステム改革によって改良された部分、セクションあるいは施策としての努力で改善された部分の2層について、施策単位あるいは事業単位で可視化するのが望ましい。</p> <p>また、来年度から開始される「こども誰でも通園制度」等、第5次総合振興計画策定時には想定していなかったことが発生する場合があるため、毎年度更新するロジック・モデル上では、そのギャップが分かるようにするとよい。</p> <p>人口20万人規模の自治体でも民間病院が閉院してしまったニュース等を見聞きすると、戸田市は安定していると感じる。</p>
市長	<p>基礎自治体なので、法律や制度にのっとった業務が多く、特に医療や保険分野においては評価がしづらかったと推察する。</p> <p>効率化については、進めていきたいと思いながら抑えている部分もある。国の進めるシステム標準化については、地域によっては効率化に繋がって</p>

	<p>いないと感じている。本市では、業務の効率化を目的に先行してカスタマイズしてきたものを元に戻すような作業も行っており、各部署で大きな負担となっている。</p>
委員	<p>総合振興計画とロジック・モデルの整合性が取れない施策が一部あったが、ロジック・モデルは総合振興計画を理解する上で非常に便利なツールであると感じたので、是非今後も続けていただきたい。</p> <p>今回の施策評価については、戸田市だけではどうにもできない、国が絡む施策も非常に多く、評価しづらかった。</p> <p>行政の様々な委員会に参加する中で、比較的深度を必要とされる見解が求められることが多いので、評価に必要な時間をより確保できれば、更にお力になれると思った。施策を動かすところ、計画のところ、人が動くところ、ものが動くところなど、必ず数字が動くところについては、公認会計士もお力になれると考えているので、今後も専門家の活用を御検討いただきたい。</p>
市長	<p>総合振興計画とロジック・モデルの間のずれは確かに存在すると考えている。現在、後期基本計画の策定を進めており、整合性が取れるよう調整したい。</p> <p>また、大変厳しい条件で委員を務めていただき、大変感謝している。今後も日本会計士協会には是非お力添えいただきたい。</p>
委員	<p>2年間委員を務め、12施策の評価に携わった。全般にわたって戸田市の職員は努力し、様々な知識を得て、スキルアップしながら業務に取り組んでいると感じた。</p> <p>私の信念は有言実行であり、市の職員も、言ったことは必ずやり遂げるという意識で取り組んでほしい。近年、各部署で退職者が多く出ており、特に技術系専門職の退職者が多いという点はいかがなものかと思っている。新しい人材を取り入れるに当たり、民間企業の取組も参考にすることを提案したい。</p> <p>また、昨今様々な自治体の職員に関する問題が起こっている。戸田市は菅原市長が一生懸命リーダーシップを発揮しているので安心しているが、不祥事等はないようにしていただきたい。</p>

<p>市長</p>	<p>専門職の退職者が多いことは大きな課題として認識している。退職者が民間に流れていることもあり、民間の採用についても研究する必要があると思っている。</p> <p>東京都と隣接していることもあり、同じ自治体職員であっても、待遇面で比較されると厳しい部分があることも事実である。校舎やスポーツセンターの建て替え、ポンプ場や浄水場の更新、橋の架け替え、道路整備等、大きな事業を多く抱えており、技術系専門職がやりがいを持って取り組めるような環境を整えたい。</p>
<p>委員</p>	<p>4年間に渡り外部評価委員として大変貴重な経験ができたことに感謝している。</p> <p>委員になるまでは、総合振興計画も外部評価委員会も知らなかった。委員を務めたことを契機に、たくさんの方が戸田市を良くしようと取り組まれていることを実感できた。</p> <p>総合振興計画の指標に関しては、目標と施策の間にずれが生じていたり、意図が分かりづらい指標がいくつかあったりしたので、今後改善してほしい。</p> <p>私自身、今年引っ越してしまい戸田市民でなくなってしまったが、戸田市に約37年間住みながら子育ても経験してきた。特に不満もなく毎日を過ごせたのは、やはり戸田市の市民も職員も一緒になって、戸田市のために取り組んでいたからだと思う。これからは、自称戸田市大好きサポーターとして戸田市を応援していきたい。</p>
<p>市長</p>	<p>何のための施策であるのか、施策指標で見失ってしまっている部分がある。前例踏襲に陥りがちな部分もあり、改めていかなければならない。</p>
<p>委員</p>	<p>市民委員という「税を納めている者」という観点から2年間提言させてもらってきた。</p> <p>戸田市独自の観点で社会を捉えることで、国や県とは異なる部分が出てくるはずである。その結果として、国や県に対して提言を行うことも、市の1つの機能としてあるべきである。</p>

	<p>ロジック・モデルは効果的な手法である一方で、戸田独自の視点が希薄な部分が見受けられた。現状認識のレベルが非常に抽象的であるがゆえに、具体的な論理展開ができていないと思われる。</p> <p>また、指標の設定に関しても改善が必要である。例えば、総合振興計画上、安全な道路環境の整備・推進に当たり、危険箇所に道路標識等を設置することが記載されている。しかし、その不安全箇所の数やレベルなどの具体性がなく、議論のしようがないので、具体的なボトルネックをどのように評価し、どのタイミングでどのような施策を行うのかを考えれば、適切な指標が見えてくるはずである。</p> <p>施策の費用対効果についても、一市民の立場として興味深く見ている。例えば、総合振興計画に自転車専用通行帯の写真が掲載されているが、道路の塗装に加えて標識の設置までする必要はあるとは思えない。</p> <p>市の花であるサクラソウは、ボートコース周辺に植えて、ボートと共に楽しめるようにしてほしい。市の木であるキンモクセイは、高等学校と連携してアロマにして商品化することを検討してほしい。</p>
市長	<p>市として独自性を発揮することは重要であると認識している。独自性の中には、何か特別な取組を行うことだけではなく、検討時点の不必要性から逆に人口減少対策をしてこなかったこと等、何かをしないことも含まれる。第5次総合振興計画の後期基本計画では、独自性を発揮することも重視したい。</p>
	<p>市の花であるサクラソウについては、繁殖力が弱く、湿地でないと育たないという特徴がある。戸田ヶ原など湿地が多かった時代に比べて、河川の堤防整備や雨水対策により湿地が少なくなっていることから、園芸種と呼ばれる丈夫なサクラソウを少しずつ植えている。また、サクラソウは埼玉県の花でもあるから、毎年3月に埼玉県知事とサクラソウ談義を行っている。</p> <p>市の木であるキンモクセイについては、もっと増やしたいと考えている。PRとしては、キンモクセイの香りがついたはがきを、イベント等のノベルティとして提供している。</p>
委員	<p>公募市民として、2期にわたり外部評価委員を務めた。戸田市には約30年間住んでおり、ホームページにて公募の情報を偶然見て応募したことがき</p>

市長	<p>っかけである。第5次総合振興計画やロジック・モデル等を知ることができ、非常に貴重な経験となった。</p> <p>また、外部評価委員を務めたことで、多角的な視点で市政を見ることができ、花火大会などの市のイベントも、今までとは違った観点で体験できた。</p> <p>若い世代が市政に関わる機会を増やし、当事者意識を持つようになることで、戸田市に住んでいて良かった等の実感も持ってもらうことにつながると思う。</p> <p>なお、現在外資系企業に勤めており、外部評価委員としての活動に関して、ボランティア休暇という有給休暇が取得できるので、仕事と両立しながら務めることができた。</p> <p>若者の市政への参加は非常に重要であると認識している。子どもや若者の声をどのように取り入れてデザインするか検討を重ねている。きっかけとしては、若い人が参加しやすいイベントの開催が効果的であると考えており、祭りや花火大会をきっかけに市への関心・愛着が増すのではないかと思う。</p> <p>5 閉 会</p>
----	---

## 別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和7年度第7回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和8年1月30日(金) 午前10時00分 ~ 午前11時00分
開催方法	公室
出席者氏名	委員長 佐藤 徹 (Web参加) 副委員長 長野 基 委員 青山 裕之 委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美 委員 悴田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	企画財政部 渡邊部長 山下次長 共創企画課 渡辺課長 北田副主幹 藤田主任
議 題	(1) 令和7年度外部評価報告書(案)について (2) 今後の外部評価の方向性等について
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 令和7年度外部評価報告書(案) 【巻末資料 資料1】答申書 【巻末資料 資料2】戸田市外部評価委員会委員名簿 【巻末資料 資料3】令和7年度戸田市外部評価委員会会議録 「行政評価制度の改善等に関すること」に係る今後の方向性について

( 会議の経過 )

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>1 開 会</p>
委員長	<p>2 委員長挨拶            本日は、先日の答申に対する各部局の行動計画に関する確認及び今後の外部評価の方向性についての検討が議題である。円滑な進行のため、委員各位の協力をお願いしたい。</p>
事務局	<p>3 議 事            ○令和7年度外部評価報告書(案)について            資料に基づき、事務局が説明を行った。</p>
委員長	<p>意見や質問等はあるか。</p>
委員一同	<p>なし</p>
事務局	<p>○「行政評価制度の改善等に関すること」に係る今後の方向性について            資料に基づき、事務局が説明を行った。</p>
委員長	<p>意見や質問等はあるか。</p>
委員	<p>外部評価結果において、指標の妥当性が「A 妥当である」と評価された施策はなく、全て「B 改善(小)」と評価されており、大きな問題だと考える。施策によって、アウトプット指標とアウトカム指標が混在しており、評価がしづらい。指標が明確でない限りは、外部評価としてのチェック機能が果たせないため、指標を整理してほしい。</p>
事務局	<p>施策指標に関する各委員からの意見に対しては、各部局が検討の上、行動計画を作成した。令和8年度を始期とする第5次戸田市総合振興計画後期基本計画の策定においては、各部局と調整の上、施策指標の改善を行っている。なお、第5次戸田市総合振興計画後期基本計画は、令和8年4月に公表予定</p>

	<p>である。</p> <p>4 これまでの振り返り</p> <p>戸田市の外部評価の特徴は、様々な立場からの多角的評価が行われている点である。学術、財務、経営等の分野の委員の専門的な視点に加えて、市民委員からは受益者目線で貴重な意見があった。外部評価の最終的な成果は、アウトプットとしての評価することではなく、アウトカムである市民サービスの向上、更には住民福祉の増進である。2年間の短い期間であったが、今後もそれぞれの観点から戸田市のまちづくりに注目をしてほしい。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員</p> <p>施策の点検評価については、大きく分けて2つのフィードバックがあり、1つは資源の配分の変化であり、もう1つは市のイメージや信頼の変化である。後者については、行政自身のみならず市民において、行政の取組の認識・イメージが変わり、ひいては、行政への信頼（トラスト）が変わることにつながり、大切なポイントである。</p> <p>施策指標等、外部評価によって変わった点については、Before-after を分かりやすく示した資料を作成すると、まさにフィードバックとしてよいと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>委員</p> <p>外部評価委員として幅広く行政の施策に携わるのは初めて経験であり、大変勉強になった。委員会の運営に関し、委員長、副委員長をはじめ、皆様に感謝申し上げます。財務的な視点の必要性から、今後も公認会計士を上手く活用してほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>委員</p> <p>戸田市内には約5,000の商工業があり、その内約3,000の商工業が戸田市商工会に加盟している。戸田市の経済の活性化のためには、行政による更なる経営支援が必要であると思う。</p> <p>戸田市におけるまちづくり等の会議体にも参加する中で、部署によって意見の相違が感じられることもあるため、行政の縦割りは改善してほしい。</p> <p>また、戸田市議会議員に対しても、外部評価を積極的に発信してほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>委員</p> <p>戸田市は福祉・教育に力を注いでいると感じているので、今後更に充実さ</p>

<p>委員</p>	<p>せることで、安心して、長く住みたいと思えるまちにしてほしい。</p> <p>戸田市の生活者として本委員会に参加した。司法・立法・行政の三権のうち、行政が生活を作っていると考えている。行政は住民の生活全般に関わっており、もっと議論を重ねて、行政が要望する形で司法・立法を変えていかないといけない。</p> <p>また、戸田駅前ロータリーが機能的でないように感じる。現在、北戸田駅前の開発も進めていると思うが、実際に利用している住民や事業者と議論を重ねるべきである。</p> <p>加えて、戸田市内には多くの自転車専用道があるが、自転車走行者の1割程度しか使用していないように見受けられる。要因分析や費用対効果を踏まえて、インフラの維持整備を再考してほしい。</p> <p>結果的に不便なものが出来上がった場合、税金の無駄遣いと言える。行政は問題意識を持ち、自分事として議論を尽くしてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>長年住んできた戸田市に還元・貢献すべく市民委員として参加してきたが、大変勉強になった。市民視点で考えているつもりでも、施策の評価指標が供給者視点になっているとの指摘によって、頭を切り替えることがあった。ロジック・モデルを活用する点で、入口の視点が異なると結果も異なることになる。受益者視点で考える重要性を感じた。</p>
<p>事務局</p>	<p>外部評価委員会からいただいた意見を、施策としていかに形にできるかが大事である。</p> <p>最近、部局横断的な対応が必要な事案が増えている。また、まちづくりは時間がかかることが多く、現状や将来的な展望も含めて市民への説明責任を果たす必要があることを改めて強く感じている。</p> <p>皆様からいただいた意見については、各部局に対してただ伝えるだけではなく、今後の施策に活かせるような形にする必要がある。</p> <p>2年間にわたりご尽力いただき、感謝申し上げます。</p> <p>5 閉 会</p>